

つれもて

和歌山県看護連盟だより

2025年度
通常総会に向けて

CONTENTS

2	ごあいさつ
3	2025年度 通常総会プログラム 2025年度 教育計画・青年部研修計画
4～5	2025年度 事業計画（案）
6～7	石田まさひろ「国政報告」
8～9	つれもてインタビュー「川村会長」
10～11	活動報告・研修報告
12	インフォメーション・編集後記

和歌山県看護連盟 <2025年6月発行>

和歌山市太田 4-11-18 リベラルパレス太田 501
TEL 073-488-6575・FAX 073-488-6580
発行責任者：川村 健太・表紙写真：matsu | 和歌山の茶畑



第79号



和歌山県看護連盟

会長 川村 健太

梅雨入りをし、野山の緑がより深みを増す今日この頃。会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。

今、日本では物価高騰により医療材料も高騰し、病院経営を圧迫しています。また、和歌山県だけでなく全国の各地方の病院でも看護師不足により病棟の閉鎖により赤字に転じてしまっている施設も少なくありません。この現状を打破すべく私たちの代表は国政の場で様々な政策を要望し、最近でもずっと声を上げ続けてくれているのは皆さんご存知でしょうか？

始めはどんなに小さな声でも継続して活動することで様々な政策に繋がってきました。私たち一人一人の声が看護界や国をも動かす力になるんです。政治と聞くと自分事と思わなかったり、敬遠する人もいるでしょう。しかし、無関心でも無関係ではられません。命を守るためしっかり国政の場で伝える人が必要です。

数年前コロナ禍で急に忙しくなったわけではありません。元々看護師は忙しく、今もずっと大変な中日々の業務に追われる毎日。これを愚痴で終わらせるといけません。今看護職が一丸となり力を合わせる時が来ました。当たり前を命を守り「今日もいい看護が出来た」と思えるように私たちの未来を私たちが作っていきましょう。

ごあいさつ



公益社団法人 和歌山県看護協会

会長 東 直子

新緑の美しい季節となり、爽やかな風が心地よく感じられる頃となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より、会員の皆様には和歌山県看護協会活動に、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、急速な高齢化の進行や医療の高度化、医療安全に関する意識の高まりや在宅医療等、療養の場の多様化により、看護職の需要の増加が見込まれます。しかし、本県では、医療機関・施設・在宅・教育のあらゆる場において人材確保の困難な状況が続いております。今後、少子化社会が続くことを踏まえると看護職確保は喫緊の課題であり、本会も一層強化して取り組んでいるところです。看護は、社会にとって欠かすことのできない重要な役割を担っております。患者さんに寄り添い、その心に寄り添うことのできる看護の力は、何物にも代えがたいものです。看護職が、やりがいをもって生き生きと働き続けられる環境整備に看護連盟と一丸となって活動してまいります。今後とも、和歌山県看護連盟と看護協会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



2025年度 和歌山県看護連盟 通常総会プログラム

日時：2025年6月28日（土） 13:00～16:30

会場：和歌山県民文化会館 小ホール 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 TEL：073-436-1331

- 12:30 開 場
- 12:55 オリエンテーション
- 13:00 開 会 物故会員への黙祷・会長挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露
- 13:50 議長団選出・報告事項・審議事項・退任役員挨拶・新役員挨拶・綱領宣言
- 15:00 休 憩
- 15:10 特別講演
テーマ：看護師として奮い立つ～国会に看護師がいるという重要性
講 師：能勢 和子 先生（日本看護連盟 顧問、元衆議院議員）
- 16:30 閉 会

※進行上の都合により、時間が変更となる場合があります。



2025年度 和歌山県看護連盟 教育計画

日 時	研修会名	講 師	場 所	対 象	定員	申込開始	申込締切
2025年 4月26日（土） 14:00～15:30	人口減少社会における 看護 DX の活用 ～ PHR により看護や 記録はどう変わるか ～	日本看護連盟 幹事 岡山 亮憲 様	勤労福祉会館 プラザホープ	5年日以降の 看護職 中間管理職 看護管理者 看護教育者	80名	2/28	4/18
2025年 5月17日（土） 13:30～15:30	若手が上司に聞いてほしい！ 上司が若手に聞いてほしい！ ～ 病院を良くするために お互いの目線で考える ～	京都府舞鶴市議会議員 看護師 田畑 篤子 先生	看護 研修センター	5年目までの 会員・非会員 看護管理者	80名	2/28	5/9
2025年 8月30日（土） 14:00～16:00	身体拘束を しないための工夫 ～身体拘束最小化の取り組み～	精神科認定看護師 吉本 明美 先生	勤労福祉会館 プラザホープ	連盟会員	100名	6/1	8/20
2025年10月 日時未定	和歌山県会議員との交流会 看護を考える会メンバーへ 看護現場の困りごとを伝える	未 定	未 定	中間管理職 看護管理者 看護教育者 幹事（新任） 支部長 青年部 OB 会員 協会役員	50名	未 定	未 定
2026年 2月21日（土）	交替勤務におけるより良い睡眠 連盟とは 連盟活動について	東洋羽毛 青木 勝則 様 連盟支部長 村中 清美	看護 研修センター	全対象	50名	12/1	2/13



2025年度 和歌山県看護連盟 青年部研修計画

日 時	研修会名	講 師	場 所	対 象	定員	申込開始	申込締切
2025年12月	病院アピールコンテスト		看護研修センター	全対象			



2025年度 和歌山県看護連盟 事業計画(案)

重点方針

1. 見える活動

2. 行動する会員

3. 確かな組織づくり

目的	目 標	方 針	事 業 計 画
政治力・政策実現力の強化	目標 1. 看護職国会議員の支援	1) 第27回参議院選挙における組織内候補予定者の擁立	1) ① 第27回参議院選挙で、組織代表候補者の支援体制を整備する（後援会・和歌山県看護連盟・各支部・各施設・会員） ② 会員意識調査により第27回参議院議員選挙の総括を行い、次期参議院議員選挙の課題抽出と対策立案（和歌山県看護連盟・都道府県別会議）
		2) コンプライアンス（法令順守）に基づく政治活動等の推進	2) ① 「活動マニュアル」等の周知とその活用を推進する（会長・副会長・幹事長・支部長合同会議・（6月）選対委員会（毎月～7月まで） ② 会長・副会長・幹事長・支部長合同会議・（6月）選対委員会、都道府県看護連盟等でコンプライアンス対策を検討・周知する ③ 県役員・委員会委員合同会議及び、青年部委員会においてコンプライアンス研修を実施する
		3) 看護職国会議員との連携と協働	3) ① 知名度向上のため、機関紙「つれもて」や公式LINE等の各SNSなどの広報媒体等を積極的に活用する（広報委員会） ② 看護連盟が支援する看護職国会議員の国政報告を定期的実施し、議員活動を会員へ周知徹底する（研修会・施設訪問・メール・SNS・機関紙など）
		4) 看護職国会議員の確保	4) ① 次期衆議院議員選挙に向けて該当する県を支援する
	目標 2. 看護政策の実現	1) 日本看護連盟、和歌山県看護連盟の政策実現力の強化	1) ① 看護を考える部会、看護協会、行政、及び政策委員との連携を強化する ② 国会議員・地方議員の政策説明会に参加する ③ 看護職国会議員や県選出国会議員や地方議員と「看護を考える部会」の連携を図る ④ 看護協会の重点政策の実現に向けて、情報を共有する（看護協会合同会議・ブロック別政策セミナー） ⑤ 若者の看護政策への関心を高め、政策提言力の強化を支援するために、オンライン・ハイブリッド等を活用し参加を促す（ブロック別政策セミナー、都道府県別会議、青年部ブロックミーティング等） ⑥ 看護を考える部会の若手議員の会の設立
		2) 現場の声の把握と改善	2) ① 「現場の声」アンケートを現在の研修時アンケートや和歌山県看護連盟HPに加え、公式LINEからも入力できるように整備する ② 「現場の声」があった場合、アンケート結果を、研修時の活動報告やメール・SNSにて会員にフィードバックする（教育委員・政策委員・広報委員） ③ 現場の声をもとに役員会で政策委員が話し合い、看護職国会議員、日本看護連盟「現場の声」活用促進委員会、看護を考える部会と意見交換会を行い政策提言につなげる ④ ③をもとに、問題解決に向け看護協会と協働し政策要望（書）等につなげる（政策委員会） ⑥ 政策提言及び制度改正に反映された成果を、広報媒体を活用し会員に周知する（広報委員会）
		3) 新興感染症、災害等対策に対する政策の推進	3) ① 新興感染症、災害等対策については、必要に応じ現状把握と日本看護連盟や和歌山県看護協会、議員等と情報を共有する
	目標 3. 看護を支援する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	1) ① 県選出の国会議員の国政報告会に参加し、意見交換会を実施して連携を図る ② 看護を支援する国会議員の看護政策に関する活動状況を把握する
	目標 4. 地方議員の擁立を支援	1) 地方議員との連携と連盟活動の推進	1) ① 地方議員の賛助会員の募集 ② 看護を考える部会の若手議員の会の設立 ③ 「看護を考える部会」と看護職との相互勉強会・意見交換会の実施 ④ 県・市行政の看護班との情報交換・意見交換会の実施 ⑤ 看護職国会議員との意見交換会・交流会の実施 ⑥ 県市町村議会、行政への要望書の提出 ⑦ 地方議員の政治活動・選挙活動に協力をする
		2) 地方議員候補者の発掘と育成を支援	2) ① 連盟会員に県実施の議員育成セミナーの情報を提供し参加できるように促す（木の国政経塾に受講生を出す）

目的	目 標	方 針	事 業 計 画
組織力の強化・拡大	目標 1. 会員の確保対策	1) 会員減少防止に向けた目標数の設定と目標管理	1) ① 会員拡大委員会と会員減少の理由を分析・共有し、会員確保に向けて支援する ② 協会員20%の加入数である1200人を目指す
		2) 賛助会員目標数 100 名とする	2) ① 各地方議員への賛助会員入会促進 ② 看護職のご家族や知人、その他一般の入会促進
		3) 学生会員の入会促進と青年部との連携	3) ① 看護学校への支援や訪問を行う ② 病院アピールコンテストを通じ、就職活動の支援や県内施設の情報提供を行う
		4) 看護職OB会の活性化	4) ① 看護職OBとの交流会の企画 ② OB向けの研修や情報提供の実施 ③ ナースセンターとし連携し、再就職等への支援 ④ 特別会員の入会促進
	目標 2. 看護連盟の活動及び周知徹底	1) 和歌山県看護連盟と各支部・施設との情報共有	1) ① 日本看護連盟・日本看護協会の政策情報等をタイムリーに各支部・施設長へ発信する ② 役員・委員会委員合同会議での各委員会活動の活発化について検討する
		2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進	2) ① 未入会者及び連盟会員に対し連盟活動の理解を深め実践につなげるために、「対象別研修の標準的枠組み」に沿った教育研修を実施する ② 支部独自の会員増に向けた研修実施に協力する
	目標 3. 支部組織の強化・促進	1) 支部組織活動の強化及び支部役員・リーダーの意識の強化	1) ① 各支部会議の定例化を図り、担当役員の参加でリーダー意識の向上を図る ② 三役の各支部担当者を決め支部長を支援する ③ 支部長・施設連絡員・病棟リーダー間の連携とチームワークの強化を支援する
	目標 4. 看護連盟・看護協会との連携・協働のさらなる推進	1) 和歌山県看護連盟と和歌山県看護協会との連携強化	1) ① 3 月に1回程度三役と協会との合同会議を実施 ② 毎月の役員・委員会委員合同会議にて協会からの活動報告を共有する ③ 協会長との施設訪問の実施 ④ 協会・連盟合同研修実施 ⑤ 和歌山県看護連盟、和歌山県看護協会、看護職国會議員・地方議員が意見交換できる機会を作る ⑥ 和歌山県看護連盟役員と和歌山県看護協会役員が、相互に看護政策について情報交換し政策立案、要望書を作成する
	目標 5. 和歌山県看護連盟の効率的な運営	1) 合同会議に於いて支部長の意見を常に取り入れ検討する 2) 課金システムの検討	1) 合同会議での支部活動の充実について検討し、意見交換を行う 2) 連盟本部へ会費課金システム検討の進捗状況公開し、支部長に伝達する
目標 6. 若手会員の育成	1) 若手会員の活性化の促進	1) ① 青年部委員会への担当役員の参加で三役会議において情報共有を図る ② 青年部長を中心に若手会員の選挙運動への参加を勧める ③ 青年部会議で学びを深め、自立して活動ができるよう支援する ④ 自民党青年局や看護を考える部会若手議員の会との交流や連携をする	
	2) 青年部活動の基盤づくりの促進	2) ① 看護問題を政策立案でき、様々な課題に対し考え、問題解決に向け行動できるよう支援する ② SNSや交流会、研修企画など青年部が自由に考え活動できるよう支援する ③ ①②においての活動を広報発信ができるように整備する	
目標 7. 広報活動の強化充実	1) 会員に向けた広報活動の充実・強化	1) ① 機関紙「つれもて」年に4回発行する ② 研修や交流会での連盟活動のPR ③ 学生向けSNSを活用し、フォロワー数を増やし連盟の広報に繋がる準備をしておく ④ イベントや祭りなどへの出店やボランティアでの広報活動 ⑤ 公式LINE等のSNSやホームページによる広報活動	
目標 8. 社会変化に即応するための DX の推進	1) 業務効率化や災害等の不測の事態に備えるデジタルインフラ基盤の強化	1) 社会変化に即応するためのXやPHR等の研修会を開催する	
目標 9. 関係団体・関係組織との連携・強化	1) 看護・介護との交流の推進	1) ① 訪問看護ステーション連絡協議会との交流 ② 介護福祉士会へ働きかけ ③ 精神科看護協会への働きかけ ④ 助産師会への働きかけ ⑤ 保健師会への働きかけ ⑥ その他医療団体への働きかけ	
会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	1) ① 各都道府県の災害時の被災状況を速やかに把握し、相談・支援等に対応する ② 申し合わせ事項に基づき、災害見舞い金等の支援を実施する
	2. 福利厚生への対応	1) 日本看護連盟内規に基づく対応	1) ① 名誉会員及び熟等受章者への対応を行う ② 物故者への対応を行う ③ 慶弔等への対応を行う
	3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	1) ① 諸般の疑問や問題発生の際は、速やかに情報を共有し、専門家や顧問弁護士と相談し速やかに解決する

石田 まさひろ

活動 報告



【上】
出雲大社にて
看護の神様とともに

【2段目】
救急医療センターを訪問

【3段目】
福祉関連団体の総会にて講演

【下】
ラジオ番組に出演



医療・介護・福祉の現場を守る緊急集会を開催

令和7年度予算が可決しました。無事に予算が可決され、予算委員会委員、国会対策副委員長として胸を撫で下ろしています。

予算委員会では質問にも立ちました。他業種で賃上げが進む中、医療・介護従事者の賃上げは進んでいません。医療・介護従事者の賃上げを訴え、総理から賃上げ施策推進が明言されました。施策が実行されるよう、引き続きしっかりと注視していきます。

一方で、医療機関、介護事業所の経営は厳しく、その実態を訴えた上で、物価や人件費の動きを自動的に組み込む予見性のある報酬体系の必要性や、複雑な算定要件による現場負担の改善等を求めました。

また、看護学校の定員割れが顕著であり、新人看護師確保が困難になっています。まさに医療崩壊の危機です。看護教育のあり方の見直しも訴えました。

これら危機的状況から一刻も早く脱せられるよう、尽力して参ります。引き続き、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。



厚生労働委員会にて、こどもの自殺対策について質問



看護問題対策議員連盟を開催



経済産業副大臣に Femtech 振興に関する申し入れ



予算委員会にて、看護職員などの更なる賃上げ等について質問



雇用問題に関して総理に申し入れ



患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟を開催し、患者団体より要望書を受取



厚生労働委員会にて医療現場のカスハラについて質問



連盟に入った経緯は？



和歌山医大で一年目の時に師長さんから誘っていただき、福島県で行われた全国ポリナビ（ポリスティックナビゲーション）に参加して、連盟活動に興味を持ちました。



会長になった経緯は？



会長として推薦していただきました。青年部長として6年、監事を6年務めて、会長に推薦していただきました。



会長の推薦を受けた時の思いは？



自分には大役過ぎて、最初はお断りしました。しかし前会長のサポートもあり、微力ながらもしっかり頑張ろう、僕にしか出せない持ち味が出せれば…と思いました。



持ち味とは？



若さと情熱、フットワークの軽さとか男性看護師であるとかですかね…



全国でも30代の男性看護連盟会長は珍しいのでは？



そうですね、若手の意見や男性看護師の現場の声も反映していきたいですね。



インタビュアー | ●●●●●●●● ●●●●



何の会社を経営していますか？



2024年にメディカルサポートセンターという医療者や病院施設など医療に関わる方々のサポートをする一般社団法人を立ち上げました。

もう一つの会社は財務コンサルタントの会社です。学校などで子供達に対してや色々な会社の福利厚生の一環で金融教育のための啓蒙セミナーなどもしています。

会社以外に、看護学校等で国際看護学や在宅看護学の非常勤講師をしています。





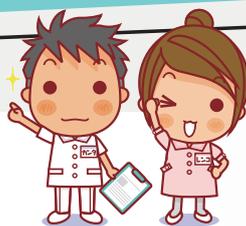
Q&A

つれもてインタビュー 3



和歌山県初の
男性看護連盟会長 **川村 健太氏**

1987年生まれの37歳



川村 会長の経歴（履歴）

関西看護医療大学卒業

和歌山県立医科大学退職後

2014年 医療法人裕紫会 訪問看護ステーション桔梗 所長

2016年 医療法人裕紫会 在宅事業統括部長

2019年 看護師特定行為研修制度修了

2020年 ファイナンシャルアドバイザーとして独立

2022年 照隅社 株式会社 設立

2022年 和歌山県看護連盟 会長 就任

2024年 一般社団法人メディカルサポートセンター 設立

2015年～2017年 紀州夢祭り 会長

2019年～2022年 県立高等看護学院 在宅看護学 非常勤講師

2023年～2025年 奈良学園 国際看護学 非常勤講師

Profile



勤務看護師を辞めた理由は？



看護師を辞めたとは思っていません。本当は現場が好きなので実はたまに現場に出ています！
しかし、現場で僕が人を助けるよりも僕が違う動きをした方が色んな人が助かるんだろうなって思って、現場で働く看護師の環境を整える連盟の仕事をしています。

座右の銘

「一燈照隅 万燈照国」



川村会長個人としての
ビジョンは？



いくつになっても誰かを勇気付けたり、ワクワクさせられる人でいたいと思っています。
和歌山から看護師（医療職）を支援する事業を全国展開していきますので興味ある方はぜひ連絡ください！



和歌山県看護連盟会長としてのビジョンは？



和歌山の皆さんに連盟の必要性和可能性をわかしてもらい、もっと頼ってもらえるようにしたいです。
政治を身近に感じてもらい、楽しく活動できるようにしたいです。これからも皆様に必要とされる連盟であり続けるように頑張ります。





和歌山県ナースセンターの 機能拡充に向けて

日時：令和7年4月21日（月）
場所：和歌山県看護研修センター

合同会議

出席議員：自由民主党和歌山県支部連合
政務調査会会長・看護を考える部会幹事長 | 濱口 太史 議員
政務調査会副会長 | 鈴木 徳久 議員、山家 敏宏 議員
看護を考える部会事務局長 | 北山 慎一 議員

和歌山県ナースセンターの機能拡充に向けて、看護協会、看護連盟、県議会議員合同で会議をしました。ナースセンター事業の説明や和歌山県の現状や必要性を伝えました。

機能充実のためには人員配置が必須です。全国最下位である人員配置の改善に向け、予算拡充も訴えさせていただきました。

ナースセンターの機能拡充は人員不足のカギです！
連盟と協会で力を合わせて和歌山県と協議していきます。



ナースセンターの目的

看護職確保で

- 新規養成
- 復職支援
- 定着促進

を3本柱にした取り組みを県行政、労働局、ハローワーク、県内の医療機関、学校、他などと連携し推進して

ナースセンター事業について



若年層が地域の学校で学び、将来県内の医療機関で働いてくれることを願ってきつかけつくりをしています。

和歌山県ナースセンターの人員を増員したい

- 1.6人の配置（最低ライン）である。次スライド参照【増員したい理由】
- 今まで述べてきたとおり事業は増えています。2040年に向けてこれらの事業を次世代に繋いでいく必要がある。
- 医療体制を継続させるためには看護職を無料で紹介していけるようにする。
(専門職を1人前に育成するには、人手と時間がかかるのに、採用にまで費用がかかると求人施設の負担が多い。)

2024年度 全国のナースセンターの人員配置



テーマ

医療現場におけるハラスメント

開催日：令和7年3月8日（土）14:00～15:30
場所：和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ 2F
講師：友納 理緒 参議院議員 参加者：59名

研修報告

和歌山県看護連盟 第3支部 野口 理恵

友納理緒先生は、看護師・助産師・弁護士資格を持ち、「看護の味方」のなることを目指され、現在は内閣府大臣政務官として活躍されています。研修では今まで国会で取り組まれてきたことや、今後看護界がどう変わっていくのかなど国政報告をして頂きました。また「医療現場におけるハラスメント」というテーマで貴重なご講演を頂きました。看護師でもありながら弁護士でもあるという立場だからこそ、細かい出来事や現場の事故や事件などの問題が看護師の立場でわかるというのは非常に心強くと感じました。

ハラスメント行為は個人の尊厳を不当に傷つける社会的に許されない行為であり、医療機関にとっても、社会的信用を失い、経営上のリスクとなり得るもの。これらを、看護職を取り巻く「業務上の危険」という側面からわかりやすくご講演されました。その中で、ハラスメントと受け取られない指導のポイント、相談を受けるときのポイントは看護管理者のみならず、すべての職員が認識すべきことだと思いました。また、バイシエントハラスメント対策については、組織としての対応の重要性が示唆されました。看護管理者は、「事前の予防策」、「発生時の対応策」、「発生後の対応策」を講じることが重要であり、組織として、業務上の危険から看護職を守るために安全な職場づくりをすることが、看護管理者の使命であると再認識できた研修会でした。



研修報告 和歌山県看護連盟 委員会委員 村中 清美



テーマ 看護職として生きていくために必要な〇つのこと

日時：令和7年3月29日（土） 場所：和歌山県民文化会館 4階 中会議室
講師：日本看護連盟 近藤 美知子 幹事長 司会：和歌山県看護連盟 委員会委員 村中 清美

日本看護連盟幹事長近藤美知子さん（以下幹事長）とは、昨年の東京表参道の本会館でお会いして一年ぶりの再会でした。幹事長には黙然とした態度で、頭の回転の速さは圧巻されるくらいの方です。今回の研修では、自らの看護人生を振り返りながら、これからの連盟のあり様と看護の未来に必要な看護政策について分かりやすくご教授くださいました。

「量を守り質を追求する」。量とは力・発言であり質とは政治・連盟活動です。2040年は、人口も減り高齢者が更に増え生産年齢人口が増えることはありません。すべて幹事長はデータを分析し証明され、看護職の減少も歴然としています。ナースもDXの活用が必要であり、業務の代用や整理も効率化を考え取り入れなければなりません。

政治とは生活そのものであり、後世のためにも看護職の力を結集し代表を国政に送りましょう。幹事長の熱い想いが研修を受けている者の心を揺らすように感じました。今回のテーマは〇つでしたが、私には大きな1つに思います。まだまだ課題は山積みです。看護の代表を引き続き国政へいざ出陣。



活動報告 & 研修報告



研修報告 和歌山県看護連盟 新宮・串本支部 支部長 前田 小百合



テーマ 「人口減少社会における看護DXの活用」 —PHRにより看護や記録はどう変わるか—

日時：令和7年4月26日（土） 場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ
講師：日本看護連盟 幹事 岡山 堯憲 先生 参加者：46名



今後少子高齢化に伴い、人口減少が進み、看護職に限らずすべての職業において今よりさらに人材不足となることが予想されます。人材不足だからと言って、看護・介護の質を下げるわけにはいきません。医療分野において人口減少社会に対応し、看護の質向上を目指し看護DX（デジタルトランスフォーメーション）・PHR（パーソナルヘルスレコード）を推進していかなければならないと考えます。看護師の目と手をどこまで機器に手伝わってもらえるか、看護のビックデータを蓄積し、いつかは人工知能を活用できるようになるのか、一つずつ解決して患者に寄り添う時間が増えることを願います。

未来の後輩たちのために、早急に看護業務のデジタル化とPHRが進むことで、現場の課題の減少に繋がればよいなと強く思いました。そのためには、看護連盟の会員を増やし、現場の声を届けるために、看護職の代表を国政に送り出す必要があることを再認識できた有意義な講演でした。



和歌山県看護連盟のインスタができました。看護連盟の活動や各議員の活動をよりわかりやすく、見やすくショート動画にまとめて行きます。ぜひ!登録をお願いします。

Follow Me!

看護の学習用アカウントもありますのでぜひご登録下さい。



 Instagram

正会員	年会費合計 8,000円	和歌山県看護連盟 年会費 3,000円	日本看護連盟 年会費 5,000円
特別会員	年会費 8,000円	現在、看護協会会員でなくても、正会員の履歴があれば入会できます。	
賛助会員	年会費 1,000円	看護職ではない方で、和歌山県看護連盟の活動に賛同して下さる方	
学生会員	無料		



看護の未来を作るのは、会員一人ひとりの力です!

友人、知人でまだ会員でない方がおられましたら、入会をすすめていただき会員増をめざしましょう。



和歌山県看護連盟 公式LINE 開設!



このアカウントでは、ナースの為の情報配信や看護連盟の活動報告・研修案内などを配信していきます!
また『現場の声』もお聞かせ下さい。

編 | 集 | 後 | 記

今回は令和7年度通常総会に向けて事業計画、研修計画を掲載しております。7月には参議院議員選挙を控えており、会員の皆様には一人でも多くの方に投票への参加推進と、期日前投票の推進を行っております。ご協力よろしくお願い致します。

(広報委員一同)

photo : matsu | 和歌山市浜の宮

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

*オンラインセミナーの開催も承ります。

睡眠セミナー講師は新型コロナウイルスの感染予防対策(検温・うがい・手指のアルコール消毒・マスク等の着用・受講者とのソーシャルディスタンスの確保等)を行いながらセミナーを実施しています。

今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです

《お役に立てる主な研修》

- 医療安全対策研修
- 学校保健委員会
- メンタルヘルス研修
- 高齢者の睡眠ケア

*他、施設内研修などご相談承ります(事前にお打ち合わせにお伺いする事も可能です)

◆セミナーに関しましては、二次元バーコードよりお問い合わせください。担当よりご連絡させていただきます。
<https://www.toyoumo.co.jp/seminar>



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所 和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



0120-32-7766